



◆ 2026 さまに防災塾 第1弾 「津波救命艇を見学しよう」を開催します

町では昨年度、ふれあい広場周辺に6艇の津波救命艇を配置しました。

これは、大津波警報が出された場合の幼児センターとデイサービスセンター利用者の緊急避難スペースとして用意したのですが、一方で一般の町民が逃げ遅れた場合の緊急避難先としても位置づけているものです。

ついでには、この津波救命艇の見学会を下記のとおり行います（小雨決行ですが、天候によっては中止としますので、ご懸念の場合はあらかじめ下記までお問い合わせください）。申込は不要です。



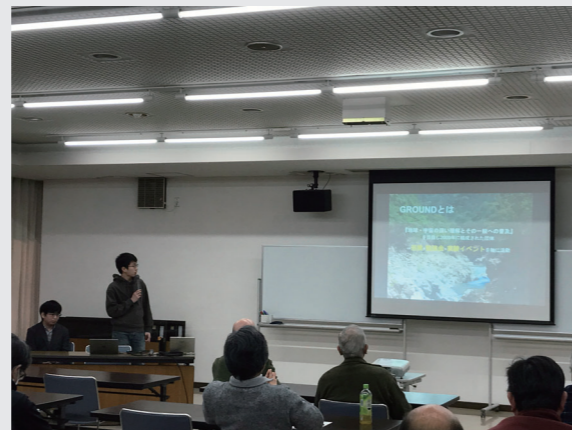
- ▶ 日時 令和8年5月31日（日）午前10時30分～11時30分
- ▶ 場所 ふれあい広場
- ▶ 問合せ先 役場総務課防災車両係（Tel 36-2111）

アポイ岳ジオパーク トピック&ニュース ジオトピ Mt. Apo Geopark Topics & News

アポイ岳ジオパークガイド勉強会を開催しました

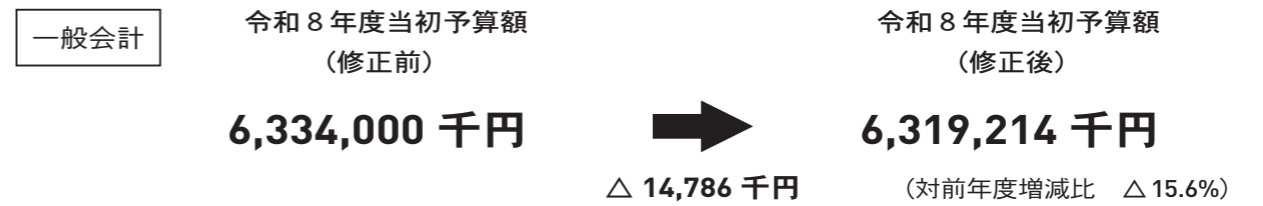
毎年、様似町で地質巡検を行っている北海道大学の「地球科学サークル GROUND」のメンバーが来町し、講演会を兼ねてアポイ岳ジオパークガイドの会の勉強会を行いました。宇宙の壮大なスケールの話がかんらん岩の話に繋がっていくなど、その研究の発表を伺いながら、新しい知識を学び意見交換を行い、改めて地域の魅力と価値を実感しました。

大学生の中には、様似は地球を感じられる場所で、小学生の頃から何度も様似を訪れているという学生も参加しており、地質巡検の際の温かい受け入れに対し、感謝の言葉もいただきました。



令和8年度当初予算の修正可決について

令和8年度一般会計当初予算は、3月町議会定例会で予算規模を1,478万6,000円減額し、63億1,921万4,000円とする修正案が可決されました。



3月町議会定例会において、令和8年度予算案を審査するため、予算審査特別委員会が設置されました。3月12日から30日までの間、審査が行われ、下記の事業について減額を求める修正動議が出され、賛成5、反対4の賛成多数で修正案が採択されました。

議会在減額を求めた予算

旧様似駅周辺整備基本計画策定業務委託料 828万円

JR日高線跡地の旧様似駅周辺（幼稚園～旧様似駅付近）の整備に向けた費用です。これまで、諮問機関の「旧様似駅周辺整備検討委員会」において、跡地の利活用や地域振興のあり方が検討され、町へ答申書が提出されました。本事業は、その答申内容をもとに、整備の指針となる「基本計画」を策定するために実施するものです。



ジオパーク推進費 650万円

- ・世界ジオパークネットワーク（GGN）関係 131万円
- ・日本ジオパーク（JGN）関係 98万円
- ・ホームページ管理 31万円
- ・様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会補助金 375万円（アポイカレッジ等教育普及事業、ジオツアー等観光事業、認定ガイド研修事業、全国大会中学生派遣、地質調査研究支援及び普及啓発業務、JGN・GGNネットワーク負担金、JGC現地調査審査事前確認）



修正されたことに対する町長のコメント

令和8年度様似町一般会計予算の一部事業において、修正可決されたことは大変重く受け止めております。理事者並びに職員は、常に町民のみなさまが直面する課題を把握し、限られた予算の中で課題解決に向けた住民サービスを実施していくことを念頭に置き、予算編成作業を行っております。

減額となった2つの事業は、いずれも町の重要課題であり、推進を望む声が多い事業だと捉えております。このたびの修正動議を受け、内部協議を行い、しかるべき時期に再度議会へ補正予算の提案ができるよう進めてまいります。



令和8年度予算の詳しい内容は、「まちづくり予算2026」をご覧ください。



ほほえみ★マイルストーン MILESTONE 01 02 03



4月に1歳・2歳・3歳になられたお子さんを紹介しています。(承諾をいただけたかたのみ)



高田 蓮ちゃん (3歳)

写真の提供について、ご協力いただきありがとうございました！

4/2

浦河地方法人会様似支部が車椅子を寄贈



4月2日(木)、浦河地方法人会様似支部(早坂拓三支部長)から様似町社会福祉協議会(前春雄会長)へ車椅子2台が寄贈されました。車椅子の寄贈は平成20年から行われており、今年で18台目となります。早坂支部長は「移送サービスでの利用者のかたなどに活用していただけたら。今後も継続して地域に貢献していきたいです。」と話され、前会長は「移送サービスの介護が安心して行えます。大切に使用させていただきます。」と感謝を述べられました。

4/11

アポイ岳の安全を祈願

4月11日(土)、アポイ岳ジオパークビジターセンターでアポイ岳山開き・アポイ山麓ファミリーパークオープン安全祈願祭が執り行われました。祈願祭には、荒木町長や関係者約30名が参列し、シーズン中の登山者の安全と、観光の振興を祈願しました。いよいよ本格的な登山シーズンの到来です。ルールやマナーを守り、事故なく安全に様似の豊かな自然を楽しみましょう。また、パークゴルフ場も同日オープンしました。ご家族やご友人と一緒に、爽やかな汗を流しに出かけてみませんか？



様似町からののお知らせを配信しています！みなさんの登録をお願いします！

▼スマートフォンの場合 ▼ガラケーの場合

LINE QR code, X QR code, 登録制メール QR code



まちの話題
Town Topics

～あいさつ週間・見守り活動～

様似町生活館活動推進事業 講演会 「道外に暮らすアイヌ民族」

3/27



アイヌ民族の伝統楽器・トンコリの演奏

3月27日(金)、様似町生活館活動推進事業として「道外に暮らすアイヌ民族」と題した講演会が東様似生活館で行われました。講師を務めた釧路市出身の宇佐照代さんは、東京都でアイヌ料理店「ハルコロ」の経営をしながら、アイヌ文化伝承団体「アイヌ・ルトムテ」の代表として、アイヌ文化の伝承に携わっています。講演会では道外でアイヌとして暮らしてきた経験や東京での活動、2025年に公開され、自身も出演しているドキュメンタリー映画「そして、アイヌ」についてなどのお話をいただきました。

3/30

株岡田共立興産へ感謝状贈呈

3月30日(月)、町と防災対策に係る協力協定を締結している株式会社岡田共立興産(山本玄記代表取締役)に対して、同社所有の倉庫への備蓄品の保管や、災害時における避難者の受け入れに協力をいただいたことについて、荒木町長より感謝状が贈呈されました。

感謝状を受け取った山本代表取締役は、「今後も町民の安全と安心のためにできることがあれば協力していきたいと思います。」と話してくださいました。



消防庁長官表彰を伝達

3/31



3月31日(火)、令和7年度消防功労者消防庁長官表彰の伝達式が行われ、荒木町長から受章者の日高東部消防組合様似支署長の菅原明浩さんへ章記と記章が手渡されました。菅原さんは長年にわたり消防の発展向上に貢献された功績が認められて、3月4日付で永年勤続功労章を受章されました。

伝達を受け、菅原さんは「周囲の協力があつての受章です。今後も初心を忘れることなく、町の安心・安全のために力を尽くしたい。」と、感謝と抱負を語りました。